



ふれあいのひろば

県警察本部長表彰を受賞

町会の防犯活動が評価される

去る3月31日、警察本部長から防犯活動について団体表彰を受けました。伝達式では中原警察署に於いて、五十嵐署長から第二町会の警察官との合同パトロールや防犯デモを設定して活動しているなど、防犯意識の向上に努めていることに顕彰の言葉が述べられました。

団体表彰の受賞は第二町会のみでした。永年の継続した地道な活動が評価されたものと思われまます。



署長室にて受賞式

3月29日実施

気象庁の天気予報の開花予想で暖冬のために早まるとの予測に振り回されましたが、何とか寒い陽気の中でも無事に終わることができました。開花は2分咲程度でしたが、参加者は大人112人、子供36人と大勢の参加がありました。ガス橋下でラジオ体操で体をほぐした後、東京側の土手を約1キロ往復して平間公園で昼食の焼そばを食べ、ゆりの会の踊りや飛び入りの歌などもあつて賑やかにひと時を過ごしました。午後からは日差しも出てのびやかに過ごせました。



親子のふれあい



準備から活動した女性役員
左から松森、鳥澤、小島、八木さん



ゆりの会有志の踊り



やきそばを作る 左から鈴木、井出さん



春の全国交通安全運動
第二町会と五瀬瀬自治会
4月7日、9日 三班で実施



五十嵐署長と山上町会長

かわら版

平成21年7月1日発行
上平間第二町会
編集責任者
堤 秀 夫
印刷所 長谷川印刷(有)

ミニ・ディサービス

川崎市消費者相談センターの斡旋による「夢見亭わづら」さんの「振込め詐欺・悪質商法」追放の落語も5年連続の公演となりました。詐欺の手練手管を笑例をひいての落語に参加者は笑いながら勉強しました。

ミニ・ディサービスは高齢社会部と婦人部を中心として、その他の男性達も協力しながら、心の健康、体の健康を維持する為の活動を展開しております。



今年で5年目の「わづら」さん



クリスマス会での談笑

ひらまの里特別養護老人ホーム

町会区域内に特養老人ホームひらまの里があります。高齢化の進む町会にあって、介護保険、介護予防、介護等級申請などの説明、相談等、ひらまの里は、心強い存在です。高齢社会部会も、その活動の大きな後ろ盾となっております。

高齢社会部会の中に、ボランティア部会があり、その一環として、近隣町会有志を含め十数名でシート交換をしております。(約八十床)毎週金曜日、十時〜十一時四十分、各自都合もあり人手が少なく難儀しております。都合のつく日だけで結構です、お手伝い頂ければ大変助かります。どうぞよろしくお願致します。

茂木 久夫



ひらまの里特別養護老人ホーム 毎週金曜日のシート交換



ミニ・ディサービスを仕切るスタッフの皆さん

三太II

ふれあい投稿コーナー
大旦那が、今度は三太へこう言った。「お寺へいくから供をきなさい」
小高い山の上である。長い石段が昇っている。大旦那は、握り飯の一杯入った重箱を三太に持たせ、その階段を登るつもりなのだ。長屋の店賃は溜つたまま。お母の咳も続いている。八才の三太は、またも歯を食い縛るほかなくった。一体いくつ握り飯は入っているのか、細い腕にずっしりとくる重箱を抱え、太った旦那についてゆくと、果して百段はありそうなのも見えぬ石段だった。しかも、その一段づつがまた高いときている。脇には女坂もあるのだが、大旦那は振りむきもせず、「こつちだ」
大声で言う、その百の段を登り始めたのである。三太は何にも言わなかった。汗をかきかき両肩で息をしなから、重箱を落とさぬように、登っていった。一段分の仕

事が終わる。そんな風に、自分へと言いつつながら、三太が途中で泣き出すのを、大旦那の方はきつと今日も待っていたのに違いない。いや、泣かなくてもいい。せめて、手が痛むとか足が吊れたとか、ちよつとでも何か言わぬものかと。だが、必死の三太は、自分の足元しか見てはいなかったのだ。
空は青く、木々は瑞々しく、鳥も蝶も飛んでいたのだけれども、息を切らせながら、苛々と大旦那がもう一度振り返ったのは、八十段目か九十段目か。
その拍子に、太った体は上物の着物の裾を草履の先へ、引っかけた。まいったのだ。三太は「わあー」
大きな声を上げ、次の瞬間には墜落しかかっていた。咄嗟に、三太は旦那の丸太のような片脚にしがみつく。あとは、身代りに握り飯が全部、はるか下まで転がっていつてしまったとき。

(井蛙)

平成20年度		平成21年度		上平間第二町会
一般会計収支決算表		一般会計予算案		
科目	20年度決算	21年度予算	摘要	
収入				
前年度繰越金	1,211,240	1,399,782		
町会費	3,771,300	3,700,000		
雑収入	1,938,589	2,200,000		
合計	6,921,129	7,299,782		
支出				
総務部	1,758,711	1,500,000		
防火防犯部	785,884	800,000		
衛生部	72,705	100,000		
青少年部	482,697	500,000		
交通部	49,500	90,000		
広報部	12,207	50,000		
厚生部	591,756	600,000		
管理部	385,065	350,000		
婦人部	30,592	50,000		
文化部	14,565	50,000		
高齢社会部	103,169	110,000		
防災部	154,506	100,000		
役員行動費	33,500	50,000		
渉外費	780,490	700,000		
退職記念品費	266,000	50,000		
合計	5,521,347	5,100,000		
次年度繰越金	1,399,782	2,199,782		
特別積立金会計収支決算表	支出の部	管理部	1,815,000	
		一般会計	286	
		次期繰越	5,766,592	

(注) 特別積立金会計は21年度収入支出とも予定はありません。



ミラノ・ドゥモにて
小島添乗員と

イタリヤ旅行
旅風会会長 山上正

第二町会は、地域の人が知り合え触れ合う事により、地域の活性化を図る目的で発会しました。旅風会も、海外旅行を重ねて六回となりました。この度は歴史と世界遺産の国イタリアを選び、会員三十名参加で、空路十三時間のフライトで無事ミラノ空港へ。ミラノの歴史は紀元前四世紀からケルト人が定住する植民都市であった。その後、ローマ人に征服されて、急速に発展したとされ、その後十一世紀には自治都市国家が形成



海軍の会
3区 梅田 松原

私は昭和3年3月生まれで現在81才になる。出身地は新潟県栄村(現・三条市)である。生家は米作農家であって、この地域は殆ど米づくりの単作農業地域であった。当時は青年学校というものがあつて勉強は夜だけで農繁期には週1、2日だけ行なわれ、あとは勤労奉仕と教練が中心であつた。勤労奉仕は川の掃除をして水中の草を取ったり、周りの草を刈ったりすることであつた。16才になった昭和19年10月に舞鶴市の平海兵団に入隊した。当時は国民皆兵で青年学校では全員が志願するように

されたが、スペインやオーストリアの支配が十八世紀まで続いた間にヨーロッパ文化が形成されたとも言われています。ナポレオン三世によりオーストリア支配の終焉と新たな統一国家の誕生を宣言。その後ミラノはイタリアの経済文化の中心となり発展を続けたと言われ現在の芸術と歴史の街の躍進に繋がっていると思われまます。

ミラノの街は、ドゥオーモ(街の中心にある宗教的シンボル)の大聖堂、世界三番目に大きく十四世紀から五百年の年月と十三人を超える建築家に引き継がれ建てられた、ゴシック様式の尖塔の美しい聖堂)広場を中核に放射線状に道が延びる都市構造を有している。広場の北側にあり巨大な凱旋門を誇り、高さ四十七メートルのガラスで作られた丸屋根のアーケード街、カフェやレストランが並び今は若者の街として賑わっている。ここを通り抜けると、世界有数のオペラの殿堂として有名なスカラ座広場に出る。スカラ座のポツ

命令される様な雰囲気であつた。海兵団は新兵だけを集めて新設された16才から19才の徴兵前の志願者の集団で、一教団20人編成で12教団あつた。もうその当時は船がなかつたので、ボートの漕艇訓練、鉄砲を持って野原を駆け回る訓練が毎日実施された。世に言う有名な海軍精神注入棒と名付けられた海軍バツタ、野球のバツタの様な丸太棒で尻を殴られることが再三であつた。この海軍バツタの発案者が東郷元帥であつたと聞かされて、以後、東郷元帥が嫌いになつた。入隊時は二等機関兵だつたが、無事に一等機関兵に昇進したのち、終戦を迎え10ヶ月間の軍隊生活を終えて郷里に帰つた。

クス席からの眺め、素晴らしい作りのロビー、スカラ座博物館の栄光に満ちた歴史や資料を見聞き感動を覚える事が出来た。近代化が進むミラノではあります。中世と現代がうまく共生出来ている都市に思いました。まだまだ沢山見聞して来ましたが、一口には難しくてこれまでとさせて頂きます。

今年の旅風会の旅行
カンボジア・ベトナム
会長 山上正

世界遺産アンコール遺蹟群観光と
プテバリホーチミン5日間
2009年11月5日(木)~11月9日(月)

アンコール・ワットの夕景

が町会の俳句の会に入会して楽しんでる。その後、昭和23年に兄がシベリアから帰還し、次男坊の私が独立して家を出る事になった。その時のローカル新聞に掲載された日本鋼管の募集広告を今でも覚えている。そこには、「思想堅実なる若人よ来たれ」と書かれていた。かくして昭和24年7月に日本鋼管に入社、新島の独身寮に住むことになる。職場は渡田工場に鉄を圧延する工場なので、それこそ金と命の交換会社といわれる職場であつた。

俳句
天神台句会
5月27日吟行・浜離宮

吉宗縁のカエデ実ブーメラン
徳川にゆかりの離宮鴨場かな
黒船の見えたる離宮夢おぼろ
老松の完熟の実朱にそま
松手入れ曲木雄姿三百年
潮入りの園に跳びはね光る鱒
あぐらして抹茶頂く女かな
年を経し松の緑の根方かな
浜離宮菖蒲道行く相撲取り
梅田 松男
縮の子の団子になりて水光る
菖見せ今日の紫花菖蒲
口染めて子供に還る桜の実
川部 露子
結やさをがしとめて糖尿病とわ
我こころ年金現金通帳つゆの空
馴れぬ事を亡くすびわの種
斎藤 正子
潮入の池目の前で缶ビール
風青し三百年の松うねる
ジャンプして手にした実梅しやぶりけり
佐藤 輝之

短歌

野球帽紺のジャンパー夫に似て
居る筈の無き姿重なる
かり来る電話訪い来る友の居て
満ちたる日々を今を噛みしむ
果てしなく続く青田に影一つ
落ちて雲の過ぎて行きけり
高山 房子
花三分公園の風冷たくも
酌み交す友等宴満開
ピカピカの一年生のランドセル
背中いっぱい踊るよろこび
バスツアー故郷の村過ぎ来れば
幼き日々を拾うが如し
茂木 久夫
地に描く大きな船に乗船す
五才の我らのはるかな夕べ
睡蓮のその一房の線形
複雑ふしぎと目高ははしゃぐ
濡れに濡れ吹かれ吹かれし星祭
嵐過ぎれば祈りも散りぬ
松森 礼子

人類の狂気
アウシュヴィッツ

元住吉の近く関東労災病院の前に川崎市平和館がある。この平和館には数々の戦争の記録写真や戦没者の遺品が展示されている。そして一九四五年四月の米軍による川崎大空襲の様子を映した映画も毎正時に20分間上映されている。爆撃そのものは川崎空襲のフィルムがないとかで、東京爆撃の様子が映写されるが、空襲で焼けた後の川崎の惨状は目を覆うばかりである。

息までも染まりさうなる青葉かな
粋安初夏の浅草駆ける車夫
東京の下真中なる舟遊び
四津田富美子
晴天の離宮の垣の蛇いちご
舟影をゆらして行けり通し鴨
白服の少女映すや船だまり
高山 房子
幾年の松の緑の若き枝
小波立つ潮入り池に残る鴨
ビル谷間菖蒲菖の出番待ち
滝口 園美
隅田川船上で振る夏帽子
將軍家鷹場の茶屋に端居せり
浜離宮風炉点前の静かさや
堤 秀夫
初ツバメ燕返して笑い飛び
春霞踏みし道の端青深し
露を煮る厨の香りひろがりて
山上 正
黒松の大蛇のごとき五月晴
デンキブラン待つ浅草の夏帽子
離宮から舟離れゆく薄暑かな
松森 礼子
橋いくつ潜りつ酌みつ花隅田
花菖蒲あやめ咲き争う離宮燦
句作より酌み語らいの夏離宮
茂木 久夫
人力車の車夫の額や汗光る
潮入の池のさざ波夏ささず
浅草寺に人賑わいて街薄暑
長谷川照世
あと5分あと5分と床の中
やっぱり起きなきやー始まらぬ
新入生喜々としてランドセル
背に負う顔はやがて大人に
さくら散りみどりの新芽あざやかに
自然にいつも感謝々々
S女88才
横浜の開港記念浮世絵展に
黒船の来し昔偲びぬ
五月晴我が小庭にも薫風に
新緑の香がほの漂へり
H 生
余命知る娘へ掛ける言葉なし
夫と震える夜を過ぎしぬ
希望といふ言葉何度も諦めて
神に手合せ過ぎす日々なり
明日といふ日を信じつつ入院の
娘に会いに行く夫と二人で
慈 声

さらされて苦難を舐めてきた。首都のワルシャワは第二次世界大戦で完全に破壊されたが、現在は昔のとおりの完全に復興されている。世の面影が復活している。しかし、街の至る所にワルシャワ蜂起の記念像があつて、ここでは市民の誰と誰が戦死したと名入りのプレートが壁や台石に嵌め込まれている。戦争の悲劇を決して風化させないという復興に際しての強い意志である。ナチス・ドイツによるアウシュヴィッツの悲劇、旧ソ連軍が戦後のポーランドの弱体化を狙ってワルシャワで蜂起した20万人の市民を見殺しにした事や数千人のポーランド人将校の捕虜を虐殺したカチンの森の悲劇、いずれも人間の仮面を被った鬼畜の仕業と思えない事件である。

わかつていのです。今のままでは、お互い辛いことでも、やわらかな言葉がみつからない。「ごめんね」って、突然言ったら、黙って笑ってくれるかしら。本当の悲しく、つらかった気持ちの裏側で、怒ってばかりの私。それでも、辛抱強くいてくれて、だから、ごめんね。そして、ありがとう。ペンネーム 宮沢 治子



対局中のひとこま

入会を歓迎します
町会 囲碁・将棋の会
連絡先 (544) 4287 山上
(522) 8015 露木